

パートさんの労働の実態は

「パート続けたい」7割 厚労省調査、20代は正社員希望多く

厚生労働省が23日発表したパートタイム労働者調査で、「パートで仕事を続けたい」という人が71.6%に達した。正社員希望は20～24歳で57.3%、25～29歳では41.8%だったが、年齢が高くなるにつれて割合は下がり、全体では22%にとどまった。働き方の多様化に合わせてパートタイムで働く人の待遇改善が今後の課題となる。

パートを選んだ理由は「自分の都合の良い時間に働きたい」が55.8%で最多。「正社員として採用されなかった」は7.4%にとどまり、自ら希望してパート労働を選ぶ人も多いことがわかった。「同じ内容の業務を行う正社員がいる」割合は48.9%。このうち「責任の重さが同じ正社員がいる」は36%いた。賃金は「正社員より低い」が納得している」が42.5%で最多だった。

正社員として働いた経験がある男性は66%、女性は79.3%だった。女性は結婚や出産で1度正社員を離れるとその後はパートで働く人が多い。働く理由については、女性は「家計の足しにするため」が70.9%だった。

(日本経済新聞 H24. 8. 24朝刊)

先日、パート労働者の労働契約の仕組みが変わることを No332でお伝えしましたが、今回はそんなパートさんの労働実態調査の報告です。

パートさんは、その約6割が自らが正社員ではなくパートを選んでいること、正社員への転換希望も20代では半数近くあるも、全体では約2割にとどまること、働く理由は約7割が家計のためで、今後も約7割がパートで働きたい、と答えています。

これを見るとパートさんの処遇については、生活とのバランスをとりながらいかにロイヤリティをあげ、パートさんとしての役割をまっとうしてもらいたくがポイントになりそうです。そのためには、パートさんにもふさわしい教育が必要になってくると考えます。